



新年をむかえて

理事長 牧野 洋子



平成 24 年が暮れ、平成 25 年の年が始まっています。

今年もまた、どうぞよろしくお願い致します。

うん十年昔、家庭を営みだして間もないころ、暮れと正月というものは“しなければならぬことがわんさか”押し寄せてくる、ひたすら大変な時節でした。大所帯でもない、ただの核家族でしかなかったのに、重たい買い物が何度もあって。あれもまだ！これもまだ！大みそかの夜遅くお風呂に浸るころには、呆けるくらいに疲れ果てたこともありましたが。それが今は、なんと気楽なことでしょうか。この大掛かりな、世の中のイベントの時節・・・時を刻むほどにせわしなさが加速する年の瀬、一転静謐な時をたたえる年の初め・・・イベントのささやかな参加者として、やるべきことをいくつかおこなって共に雰囲気を楽しみ（あくまで自分なりに、無理はせず）。これって、自らが年経たゆえの醍醐味？なのではないでしょうか。

かつてあったいくつもの節句（生活の時の区切り）はなくなっていくたけれど、この「暮れと正月」は日本全域の時空を共有して、色濃く残り続ける。メディアによる無理やりの全国的共有という面もあるにはあるのでしょうか。

自分なりの過ごし方で、時の流れを楽しみつつ、今年も過ごしていきましょう、共に。



ノロ対策について

ニュース等でも報じられていますが、旭区の各施設からもノロウイルスによる食中毒発生の報告が入っています。“たすけあいあさひ”のご利用者の中からも、下痢・嘔吐が発生しておりますが、大事に至らず治癒しています。

若い人ならば1~2日間で治まる症状も、高齢者の場合は長い人では2週間位かかっています。脱水を防ぐための点滴治療を行った方も数名います。

“たすけあいあさひ”では、ヘルパー向けの通信等で予防や、万が一の時の対処方法を広報しています。事務所や各デイサービスには、ノロセット（掃除用物品一式）を常備し、研修も実施しています。さらに、移送サービスの車中には、塩素スプレーも配備しました。

これは便利!!

スライディングシート

ビニール製で表面がすべすべしており、介護を受ける人とベッド(ふとん)との摩擦を軽減し、介護を受ける人を持ち上げて移動させるかわりに、押したり引いたり回転させることで、あまり力がない人でも安全に移動、移乗させることができます。

